

# 令和3年度 県政世論調査

## ～調査ご協力をお願い～

日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、山口県では、県内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に選ばせていただき、県政に関するアンケート調査「県政世論調査」を実施しております。

本年度は、あなた様を対象に選ばせていただきましたので、どうぞ、率直なお考えやご意見をお聞かせください。

ご回答は無記名としており、お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外に用いることはございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、今後の県政運営の基礎資料とさせていただきますので、なにとぞ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和3年6月

山口県 総合企画部 広報広聴課

### ご回答にあたってのお願い

- ◇ 回答は、お送りした封筒のあて名の方ご本人が記入してください。
- ◇ 次ページ以降の各質問について、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ◇ 「その他」を選ばれた場合は、( )内に具体的に記入してください。
- ◇ 6月28日(月)までに、次のいずれかの方法でご回答をお願いします。

#### ・本調査票で回答

同封の返信用封筒に調査票を入れて、ポストに投函してください。

#### ・インターネットで回答

① 回答用Webページを開く。

アドレスを入力するか、二次元バーコードを読み取り、Webページに接続する。

●アドレス

<https://kksr.com/yamaguchir3>

●二次元バーコード



② 「回答用ID」と「パスワード」を入力し、ログインする。

●回答用ID

●パスワード

③ 画面の案内に沿って回答する。

(インターネットで回答された場合は、調査票を返送する必要はありません。)

※ 調査票にあなたのご氏名等を記入される必要はありません。

※ インターネットで回答しても、あなたのご氏名等は特定されません。

この調査についてご不明な点や疑問点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査実施主体】 山口県総合企画部広報広聴課 広聴企画班 TEL 083-933-2560

【調査実施機関】 株式会社東京商工リサーチ 山口支店 TEL 0834-22-1060

**最初に、生活全般や政治・経済への関心度についておたずねします。**

**Q1-1** 今のお宅の暮らし向きは、2～3年前に比べて・・・ (○は1つ)

1. 良くなった 2. 少し良くなった 3. 変わらない 4. 少し悪くなった 5. 悪くなった

その理由をお書きください ( )

**Q1-2** 今のお宅の暮らし向きにあなたは・・・ (○は1つ)

1. 満 足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不 満

その理由をお書きください ( )

**Q1-3** これからのお宅の生活の見通しは・・・ (○は1つ)

1. 明るい 2. やや明るい 3. やや暗い 4. 暗 い

その理由をお書きください ( )

**Q2** あなたは、国や県、市町の政治・経済についてどの程度関心がありますか。(○はそれぞれ1つ)

	大変 関心がある	関心がある	あまり 関心がない	全く 関心がない
(1) 国の政治・経済	1	2	3	4
(2) 県の政治・経済	1	2	3	4
(3) 市町の政治・経済	1	2	3	4

**県の行っている広報についておたずねします。**

**Q3-1** あなたは日頃、県が行っている仕事などの県政情報を何によって知ることが多いですか。(○はいくつでも)

- |   |  |
|---|--|
| 1. 県広報誌「ふれあい山口」<br>2. 県政テレビ放送<br>3. 県政ラジオ放送<br>4. 県からの新聞広告<br>5. 県のホームページ<br>6. 県のメールマガジン<br>7. 県のソーシャルメディア(フェイスブック等) | 8. 県が発行する各種パンフレット・チラシ<br>9. 新聞報道<br>10. テレビ報道<br>11. ラジオ放送<br>12. 市町広報紙<br>13. その他 ( ) |
|---|--|

**Q3-2** 県全世帯に配布している県広報誌「ふれあい山口」を読んだことがありますか。(○は1つ)

- |                        |                                  |
|------------------------|----------------------------------|
| 1. 読んでいる 2. ざっと目を通している | 3. あることは知っているが 4. 知らない<br>読んでいない |
|------------------------|----------------------------------|



→ Q3-4へ

**Q3-3** 「ふれあい山口」の情報量及び読みやすさについておたずねします。(○はそれぞれ1つ)

(1) 発行回数 季刊発行 (年4回)	1. 多すぎる 2. 多い 3. ちょうどよい 4. 少ない 5. 少なすぎる
------------------------	---

(2) 各号の情報量 年2回：12ページ 年2回：8ページ	1. 多すぎる 2. 多い 3. ちょうどよい 4. 少ない 5. 少なすぎる
(3) 誌面の読みやすさ	1. 読みやすい 2. どちらかと いえば読みやすい 3. どちらと もいえ ない 4. どちらかと いえば読みにくい 5. 読みにくい

**Q3-4** 県が提供しているテレビ・ラジオの県政番組についておたずねします。(○はそれぞれ1つ)

- (1) 次の番組を視聴（または聴取）されたことがありますか。1、2、3から選んでください。  
(2) 視聴（または聴取）されたことがある場合は、その番組の印象をア、イ、ウから選んでください。

		毎回ほとんど見て(聴いている)	見た(聴いた)ことがある	ほとんど見た(聴いた)ことはない	大変好感が持てる	好感が持てる	好感が持てない
テレビ	「元気創出！やまぐち」[KRY 山口放送] 毎週日曜日 11:10～11:25	1	2	3	ア	イ	ウ
	「大好き！やまぐち」[TYS テレビ山口] 毎週土曜日 18:50～18:55	1	2	3	ア	イ	ウ
	「イキイキ！山口」[YAB 山口朝日放送] 毎週月曜日 23:10～23:15	1	2	3	ア	イ	ウ
ラジオ	「ワンポイント県政」[KRY 山口放送] 毎週水曜日 13:35～13:40	1	2	3	ア	イ	ウ
	「FM県民ダイアリー」[エフエム山口] 毎週月～金曜日 18:10～18:15	1	2	3	ア	イ	ウ
	「情報BOXやまぐち」[エフエム山口] 毎週月～金曜日 7:39～7:40	1	2	3	ア	イ	ウ

**Q3-5** 県では、本県の多彩な魅力や施策等の情報を、SNS等も活用し、ターゲットとなる方々に着実に届ける広報を展開しています。あなたは、このことをご存じですか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

**県の実感に対する実感についておたずねします。**

山口県では、県づくりの基本目標である「活力みなぎる山口県」の実現に向けて、さまざまな取組を進めています。ついては、取組の参考としますので、次の問いにお答えください。

**Q4-1** あなたにとって、山口県は住みよい県だと思いますか。(○は1つ)

1. 住みよい県だと思う	3. どちらかといえば住みよい県だとは思わない
2. どちらかといえば住みよい県だと思う	4. 住みよい県だとは思わない

**Q4-2** あなたは、山口県にこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1. これからも住み続けたい	3. 機会があれば県外に移りたい
2. 可能な限りこれからも住み続けたい	4. 県外に移りたい

**Q4-3** 「やまぐち維新プラン」では19のプロジェクトを掲げ重点的に施策を推進しています。これに関する県の施策について、あなたの実感についておたずねします。右ページも参考に、いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

【1】産業維新		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない
		1	2	3	4	5
<b>1 「時代を勝ち抜く産業力強化」プロジェクト</b>						
①	港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
②	新たな工場・事業所などの進出や、企業の設備の増設などが進んでいる	1	2	3	4	5
<b>2 「次代を切り拓く成長産業発展」プロジェクト</b>						
③	医療・環境関連産業や水素の利活用、バイオ関連産業など、今後、発展が期待できる産業の育成や集積が進んでいる	1	2	3	4	5
④	衛星データ利用の取組や、航空機・宇宙機器産業への県内企業の参入、IoT・ビッグデータ・ロボット・AI活用などの第4次産業革命など、新たな産業やビジネス創出の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>3 「中堅・中小企業の『底力』発揮」プロジェクト</b>						
⑤	ベンチャー企業の成長や、地域経済をけん引する中核的な企業の成長を支援するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑥	意欲的な中堅・中小企業の新商品・新サービスの開発や新たな事業展開などを支援するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑦	商業・サービス業の振興に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑧	意欲のある人材が「創業」(起業)しやすいように相談体制の整備や融資制度などの環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
⑨	本県の産業を担う人材の育成や確保に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>4 「強い農林水産業育成」プロジェクト</b>						
⑩	地産・地消や6次産業化、担い手の確保、先端技術の活用等による経営基盤の強化・生産拡大など活力ある農林水産業を振興するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5

## 19プロジェクトの主な取組のご紹介

①～⑩の質問に対応した主な取組（令和2年度の取組など）を記載していますので、ご回答の参考にしてください。

① コンビナートの国際競争力の強化に向け、世界最大級の船舶の入港が可能となる港湾整備を実施【R2年度：徳山下松港・宇部港】

② 医療関連、環境・エネルギー分野などの重点成長分野の企業誘致を推進【R2年：企業誘致件数：23件】



③ 水素の利活用による産業振興に向け、コンビナートで大量に生成される水素の活用や企業の水素関連研究開発を推進

医療、環境・エネルギー、バイオ関連分野における企業等の研究開発や事業化を支援【R2年度：事業化件数：15件】

④ IoTを活用した新サービス等を創出する企業を、補助金等により支援【R2年度：中小企業IoT導入率：17.4%】



⑤ 県内金融機関等と連携したカンファレンスチームを設置し、地域中核企業等への支援を実施【R2年度：訪問企業数：30社】

⑥⑦ ものづくりやサービス業を営む企業に対し、「生産性向上・人材創造拠点」を設置し、コーディネーターや補助金等による支援を実施

⑧ 商工会議所や商工会等と連携し、創業を希望する者を支援【R2年度：支援による創業数：214件】

⑨ 企業が求める産業人材の確保に向け、「山口しごとセンター」で、若者、女性、シニアと県内企業とのマッチング等を実施【R2年度：就職決定者（山口しごとセンター登録者）：3,460人】



⑩ 新規就業者に対して、全国トップ水準の給付金などによる支援に加え、技術習得から生活全般へのトータルサポート体制を構築

中核経営体の経営基盤強化のため、専門大学や専門家派遣等による経営分析、マネジメント研修、農業機械・施設等の整備など、総合的な支援を実施



## 【2】大交流維新

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
<b>5 「交流を拓げる基盤整備」プロジェクト</b>						
⑪	空港の便数や新幹線の停車回数など交通拠点の利便性や、交通拠点と観光地などを結ぶ二次交通の充実、道路網整備など、交通ネットワークの整備が進んでいる	1	2	3	4	5
⑫	海外自治体等との国際交流や、多文化共生を深めるための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>6 「選ばれる観光目的地やまぐち実現」プロジェクト</b>						
⑬	観光資源やおもてなしの充実、スポーツ・文化資源の活用など、観光客や来県者を増加させる取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑭	海外からの観光客を増加させるための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>7 「国内外での新たな市場開拓」プロジェクト</b>						
⑮	首都圏や関西圏などに、山口県の魅力や県産品等売り込むための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑯	中小企業の海外展開や農林水産物・加工品の海外輸出を促進するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>8 「やまぐちへの人の還流・移住・定住促進」プロジェクト</b>						
⑰	県外からの移住・定住者を増やすための取組（UJIターンなど）が進んでいる	1	2	3	4	5

## 【3】生活維新

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
<b>9 「結婚、妊娠・出産、子育て応援」プロジェクト</b>						
⑱	結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための支援が進んでいる	1	2	3	4	5
⑲	安心して子どもを産み育てるための周産期・小児医療体制の整備などが進んでいる	1	2	3	4	5
⑳	児童虐待の防止や子どもの貧困対策など、困難を有する子どもへの支援が進んでいる	1	2	3	4	5

- ⑪ 空港ターミナルビル事業者や県内交通事業者(バス、タクシー等)が取り組む感染予防対策への支援、観光列車などの運行等により観光地へのアクセスを改善

まるまる

【R2年度:観光列車などの運行:〇〇のはなし、ガイドと巡る市場&歴史ツアー、やまぐち絶景満喫バス】



- ⑫ オンラインを活用した海外自治体等との交流・国際交流員による情報発信や、外国人に対する相談体制の確立や日本語教育の推進など、国際交流や多文化共生に関する取組を実施

- ⑬ 「行こうよ。やまぐちプレミアムキャンペーン」におけるプレミアム宿泊券等の販売、付加価値の高い体験型コンテンツの造成支援、「そらから魅(み)る超絶景」などの観光資源の充実等、コロナ禍においても観光需要の一層の喚起を図る取組を実施

【R2年:宿泊施設の客室稼働率:山口県 44.2% (全国1位)】

※観光庁「宿泊旅行統計調査」R2年年間値(速報値)

- ⑭ 海外の旅行会社やメディアと連携したオンラインを活用したプロモーションの実施、県内の主要寄港地を発着としたクルーズ船の広域周遊モデルルート の造成・PR など、コロナ収束後を見据えた海外からの誘客拡大の取組を実施



- ⑮ 県産品の売り込みの強化を図るため、「地域商社やまぐち」を中心に、首都圏等での販路開拓や情報発信を実施

【R2年度:問屋系展示会への出展、市町参画による商談会の開催、ご当地商品の開発と売込、売り込み宣伝カーによる県産品の移動販売・PR】



- ⑯ 県内の輸出事業者を育成し、様々な県産品を近隣の物流拠点から低コストで輸出できる体系を構築【R2年度:農林水産物等の輸出商品数:196商品】

- ⑰ 移住促進の取組の強化に向け、東京の移住希望者に向けた講座の開催、県外でも移住相談に対応できる体制の整備などを実施

【R2年度移住者数:3,230人】



- ⑱ やまぐち結婚応援センターによるマッチングや、子育て世代包括支援センターの設置など、結婚から子育てまで、切れ目のない支援を実施

【R2年度:マッチング件数:875件、支援センター設置19市町】



- ⑲ 総合・地域周産期母子医療センターへの支援や、夜間の小児応急処置等への電話相談「#8000」など、周産期・小児医療の体制を整備

【R2年度:小児救急医療の電話相談の件数:7,202件】



- ⑳ 困難を有する子どもへの支援を充実するため、子ども食堂の開設支援など地域で支える「子どもの居場所づくり」の取組拡大や、児童福祉司の増員等を実施

		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
<b>10 「やまぐち働き方改革推進」プロジェクト</b>						
⑳	長時間労働の縮減や、仕事と子育て・介護等が両立できる環境整備など、「働き方改革」の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉑	若者の県内就職・定着に向けた支援が進んでいる	1	2	3	4	5
㉒	女性が希望に応じて働き続けることができる環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㉓	高齢者が希望に応じて働き続けることができる環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
<b>11 「快適な暮らしづくり推進」プロジェクト</b>						
㉔	暮らしを支える道路網の整備や公共交通機関の利便性向上、都市公園の利用促進など、快適な生活環境づくりのための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉕	再生可能エネルギーの導入促進などの地球温暖化対策の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉖	廃棄物の削減に向けたリサイクルなどの対策や廃棄物の適正処理の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉗	自然環境の保全・活用に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>12 「新時代を創造する人材育成」プロジェクト</b>						
㉘	コミュニティ・スクールが核となり、学校・家庭・地域が連携・協働して、子どもたちの学びや育ちを見守り支援する取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉙	35人学級や少人数指導など、子どもたちの学力向上に向けたきめ細かな学習指導ができる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉚	特別支援教育の推進に向け、きめ細かな学習指導ができる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉛	いじめ、不登校対策など、子どもたちの豊かな心の育成に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉜	特色ある学校づくりなど、子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉝	大学などが参画した地域づくり活動など、大学などによる地域貢献や地域活性化の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>13 「人を豊かにする環境づくり推進」プロジェクト</b>						
㉞	生涯学び続けるための地域における多様な学習の機会や、自らのスキルアップのための学び直しの機会が充実している	1	2	3	4	5
㉟	文化・芸術活動やスポーツ活動が盛んに行われている	1	2	3	4	5

- ⑳ 働き方改革実践モデルづくりに向け、「やまぐち働き方改革支援センター」や登録制のアドバイザーにより、企業の取組のサポートを実施  
【R2年度：支援センター企業訪問件数：334件】
- ㉑ 若者の県内就職・定着のため、県内外の大学生を対象とした県内企業インターンシップを実施【R2年度：インターンシップ参加学生数：601人】
- ㉒㉓ 「山口しごとセンター」を設置し、女性や高齢者の就職支援を強化  
【R2年度：シニア・女性就職支援コーナー利用件数：730件】



- ㉔ 公共交通機関の利便性の向上に向け、ノンステップバスや路線バスの交通系ICカードの導入支援、地域交通の課題解決に向けた取組方針の策定など、新たな地域交通モデル形成を推進  
【R2年度：交通系ICカード導入支援2社】
- ㉕ 通勤等での自転車の利用促進や、再エネと連係した家庭用蓄電池の導入への補助などにより、省エネ・創エネ・蓄エネの取組を推進  
【R2年度：蓄電池補助252基】
- ㉖ 食品ロス削減に向けたフードバンク活動の拡大・定着を図る取組を支援  
【フードバンクポスト数：72カ所（R3.3.31時点）】
- ㉗ シカの個体数の調整など、野生鳥獣の適正な管理による生態系の保全や、二ホンアワサングなどの自然資源を活用したエコツーリズムを促進する取組を実施



- ㉘ 全国に先駆け、全ての公立小中学校、高等学校及び総合支援学校等にコミュニティ・スクールを導入し、地域と連携した取組を実施  
【R2年度：コミュニティ・スクールを活用し取組を実施した県立高校等：100.0%】
- ㉙ 全公立小中学校で35人学級化の維持、少人数指導のための教員加配、学力向上推進リーダー等の配置など、指導体制の整備を実施
- ㉚ 総合支援学校における実践的・体験的なキャリア教育を充実、東京パラリンピックを契機としたパラリンピアンとの交流会実施など、障害のある生徒の社会参加を促進  
【R2年度：総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職決定率：93.1%】
- ㉛ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにより、児童生徒等へのカウンセリングや家庭への支援などを実施  
いじめや自殺の未然防止に向け、教員への研修などを実施
- ㉜ 光高校と光丘高校を再編統合して、県内初の普通科と総合学科を併せもつ新しい「光高校」を開校、県内初の3部制の定時制課程と通信制課程をもつ「山口松風館高校」の開校に向けた学校づくりを実施
- ㉝ 県内の大学が持つ知見を活用した共同研究の推進や、大学生が中山間地域を活性化する取組への支援などを実施



- ㉞ 博物館やセミナーパークにおいて、生涯学習講座を開催するなど、様々な学習の機会を提供
- ㉟ 雪舟生誕600年を記念した「5GVRで探る山水長巻」の公開など、美術館におけるデジタル技術を用いた展示や、総合型地域スポーツクラブと連携して行うスポーツイベントへの支援による地域スポーツの振興  
【R2年度：県立美術館入館者数：55,876人】



		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
<b>14 「誰もがいきいきと輝く地域社会実現」プロジェクト</b>						
③7	NPO、ボランティアなどによる県民活動や住民による見守り活動が活発に行われている	1	2	3	4	5
③8	男女が性別にかかわらず、個性や能力を發揮できる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
③9	高齢者などのシニアが、スポーツ・文化活動や社会貢献活動などに活躍できる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
④0	障害のある人に対する理解が進み、障害のある人が就労したり、スポーツ・文化活動を行うことができる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
④1	一人ひとりの人権が尊重されている	1	2	3	4	5
<b>15 「安心の医療・介護充実」プロジェクト</b>						
④2	地域で医療サービスを受けられる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
④3	医療や介護が必要になっても、高齢者が地域で安心して生活できる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>16 「県民一斉健康づくり」プロジェクト</b>						
④4	生活習慣病の予防など、県民の健康づくりに向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>17 「災害に強い県づくり推進」プロジェクト</b>						
④5	地域における防災活動が活発になっている	1	2	3	4	5
④6	大雨、台風、地震などに対する防災・減災対策やインフラの老朽化対策が進んでいる	1	2	3	4	5
④7	学校やホテル・旅館、住宅など、建築物の耐震化が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>18 「暮らしの安心・安全確保」プロジェクト</b>						
④8	食品の検査や消費生活センターにおける相談など、食や消費生活の安心・安全の確保に向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
④9	安全で安心して暮らせる社会づくりに向けて、犯罪や交通事故の防止に向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>19 「人口減少社会を生き抜く地域づくり」プロジェクト</b>						
⑤0	まちの拠点に、生活に必要な福祉・商業施設などを集約するコンパクトなまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5
⑤1	中山間地域の暮らしを守り、地域づくりを支援する取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑤2	中山間地域の地域資源を活用して、農林漁業などの体験を行う地域交流など、新たなビジネスを行うための取組が進んでいる	1	2	3	4	5

- ③7 県民活動促進期間におけるキャンペーンの実施やフェスタ・写真展の開催、ボランティアマッチングサイト「あいかさねっと」の運営などにより、県民活動を推進
- ③8 男性の家事・育児への参画促進を図るため、夫婦等を対象とした家事に関する講座「カジダンオンライン～開こう家事の扉～」を開催
- ③9 高齢者のスポーツと文化の祭典「ねんりんピック山口」の開催、老人クラブのコミュニティ・スクールへの参画など、高齢者の活動を支援  
【R2年度：ねんりんピック山口：3種目、288人参加】
- ④0 「障害者芸術文化祭」、「キラリンピック」の開催や、パラアスリートの海外遠征助成など、障害者の活躍を支援  
【R2年度：パラアスリート認定選手8名】
- ④1 人権ふれあいフェスティバルの開催や、スポーツ組織と連携協力した人権啓発活動を実施



- ④2 本県出身の医学生に対する修学資金の貸付けや、研修医への指導体制の充実など、若手医師確保に向けた総合的な対策を実施
- ④3 介護人材・生活支援コーディネーターの養成により、介護や生活支援等のサービスを一体的に提供する体制(地域包括ケアシステム)を強化



- ④4 歩数や体重など健康情報を管理する「やまぐち健幸アプリ」の開発、減塩などに取り組む飲食店を拡大するプロジェクトの実施  
【取組を行う飲食店数：延べ491店（R3.3.31時点）】



- ④5 地域が主体となった避難体制づくりの支援や、自主防災組織役員等を対象とした研修を実施
- ④6 大規模自然災害に備えるため、道路・橋梁、河川・ダム、砂防堰堤などの整備や老朽化対策を実施
- ④7 施設の耐震化工事のほか、危険なブロック塀の除去への補助を実施



- ④8 県と市町の消費生活相談員による、架空請求などの消費者問題に関する相談体制を整備【R2年度：消費生活相談員の配置市町数：19市町（全市町）】
- ④9 うそ電話詐欺被害を防止するための戸別訪問活動や、高齢者を対象とした交通安全指導を実施  
【R2年度：戸別訪問活動：延べ40,055世帯（うち独居：延べ15,011世帯）】  
【R2年：高齢者対象の安全教育：508回（延べ10,763人）】



- ⑤0 住宅や福祉・商業施設などを一定の区域に集約するため、市町が進めている「立地適正化計画」の策定を支援
- ⑤1 集落の枠を超えた広い範囲(複数の集落)で、生活交通や買い物などの生活環境の維持・充実を図る「やまぐち元気生活圏」づくりを支援  
【R2年度：やまぐち元気生活圏づくりに取り組む地域数：62地域】
- ⑤2 地域交流の機運を醸成するセミナーの開催や、地域交流の主体となる担い手組織の立ち上がりを支援【R2年度：セミナー参加者：延べ60人】



【4】行財政基盤の強化		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
㊸	県と市町が連携・協力して様々な事業に取り組み、住み良い地域づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㊹	県の職員数の適正管理や財政の健全化など、県の行財政基盤の強化に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5

Q4-4 今後の県づくりを進めていく上で、県が重視すべき事項等についてのご意見があれば、その内容を記述してください。

---



---



---

**その他、県が取組を進めている18項目についておたずねします。**

### 1 新型コロナウイルス感染症対策について

Q5-1 あなたは、「新しい生活様式※1」や「5つの場面※2」という言葉を聞いたことがありますか。(〇は1つ)

※1 国の専門家会議からの提言を踏まえ、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を具体的にイメージできるよう、今後、日常生活の中で取り入れていただきたい実践例が示されています。

※2 国の新型コロナウイルス感染症対策分科会においては、これまでのクラスター分析で得られた知見から、感染リスクが高まる「5つの場面」が提言されています。

1. 「新しい生活様式」と「5つの場面」ともに聞いたことがあります、内容も知っている	5. 「新しい生活様式」は聞いたことがあるが、内容までは知らない
2. 「新しい生活様式」は聞いたことがあります、内容も知っている	6. 「5つの場面」は聞いたことがあるが、内容までは知らない
3. 「5つの場面」は聞いたことがあります、内容も知っている	7. 「新しい生活様式」、「5つの場面」ともに聞いたことがない
4. 「新しい生活様式」、「5つの場面」ともに聞いたことはあるが、内容までは知らない	

Q5-2 あなたは、日常生活や飲食の場面等での新型コロナウイルス感染症対策として、どのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

1. 何もしていない	9. 毎朝体温を測定し、発熱または風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養
2. 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける	10. 店舗や施設等から求められる感染防止対策に協力する
3. 外出や会話をするときには、症状がなくてもマスクを着用する	11. 感染防止対策に取り組む飲食店を利用する
4. 感染が流行している地域への移動は控える	12. 大人数や長時間におよぶ飲食は避ける
5. まめに手洗い・手指消毒を行う	13. 回し飲みや箸などの共有を避ける
6. 咳エチケットの徹底	14. 飲食時の会話の際には、マスクを着用する
7. こまめに換気	15. その他 ( )
8. 「3密」の回避(密集、密接、密閉)	



**Q7-2** あなたは、申請・届出等の行政手続をオンライン（各種申請システム・電子メール等）で手続したことがありますか。（○は1つ）

1. オンラインで手続したことがある
2. オンラインで手続したことはないが、してみたい
3. 手続がまだオンライン化されていないため、できない
4. オンラインで手続ができることを知らなかった
5. パソコンやスマホを持っていない（使えない）ため、できなかった。
6. 関心がなく、今後もオンラインで手続をしない

**Q7-3** 山口県でデジタル化が進むためには、どのような取組が必要と考えますか。（○はいくつでも）

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 行政手続のオンライン化         | 6. デジタルが苦手な方たちへのサポート |
| 2. マイナンバーカードの普及・活用     | 7. データのオープン化と利活用の促進  |
| 3. 通信環境の整備・拡充          | 8. デジタル化に取り組む企業等への支援 |
| 4. 情報セキュリティの確保         | 9. その他（ ）            |
| 5. デジタル教育の推進、デジタル人材の育成 | 10. 特になし             |

#### 4 県民活動について

**Q8-1** 県では、県民活動（営利を目的としない県民の自主的・主体的な社会参加活動）を推進しています。あなたは、地域の清掃やスポーツ行事、リサイクル、高齢者や障害者のための福祉、子育て支援など、仕事以外で地域や社会のために活動したことはありますか。（○は1つ）

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 活動したことがある | 2. 活動したことがない |
|--------------|--------------|

**Q8-2** あなたは、今後このような活動をしたいと思いますか。（○は1つ）

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. したいと思う →Q8-3へ | 2. したいと思わない →Q8-4へ |
|------------------|--------------------|

**Q8-3** どのような分野の活動をしたいと思いますか。（○はいくつでも）

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1. 健康づくり（食生活や体力づくりの指導等）                   | 8. 自然保護・環境保全            |
| 2. 医療（献血、患者の会等）                           | 9. 防犯活動                 |
| 3. 高齢者・障害者福祉                              | 10. 交通安全                |
| 4. 児童・母子・父子福祉（ひとり親家庭の支援等）                 | 11. 子どもの健全育成（放課後活動の実施等） |
| 5. まちづくりの推進・観光や産業等の振興<br>（清掃活動、都市と農村の交流等） | 12. 社会教育の推進（生涯学習、啓発活動等） |
| 6. 学術・文化・芸術・スポーツの振興                       | 13. 災害救援                |
| 7. リサイクル                                  | 14. 消費生活（消費者保護、流通調査活動等） |
|   | 15. その他（ ）              |

**Q8-4** したいと思わない理由を、次の中から選んでください。（○はいくつでも）

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 活動する時間がない     | 5. 健康や体力に問題がある   |
| 2. 一緒に活動する仲間がいない | 6. したいことがない      |
| 3. 活動する資金がない     | 7. 何をしてもよいかわからない |
| 4. 情報やきっかけがない    | 8. その他（ ）        |

## 5 犯罪被害者等支援について

Q9-1 あなたが犯罪被害に遭ってしまった場合、誰に相談しようと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                           |                             |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 県や市町などの行政機関            | 6. 友人や会社の上司、同僚等             |
| 2. 警察等の捜査機関               | 7. その他 ( )                  |
| 3. 民間の支援団体 (民間犯罪被害者等支援団体) | 8. 相談できる人がいない、相談できる機関がわからない |
| 4. 弁護士や法テラス               | 9. 相談しない                    |
| 5. 家族、親族                  |                             |

Q9-2 あなたは、犯罪被害に遭われた方やその家族又は遺族が「二次的被害」により苦しんでいる実情があることを知っていますか。(〇は1つ)

※二次的被害：犯罪等による直接的な被害を受けた後に、犯罪被害者等に対する配慮に欠ける言動、誹謗中傷、過剰な取材等により、犯罪被害者等が受ける精神的な苦痛、身体の不調、名誉の毀損、私生活の平穩の侵害、経済的な損失その他の被害をいう。

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 身近な人が苦しんでいたのを知っている    |
| 2. 苦しんでいる人がいることを聞いたことがある |
| 3. 知らない                  |

Q9-3 あなたは、「犯罪被害者等基本法」や「山口県犯罪被害者等支援条例」というものがあることを知っていますか。(〇は1つ)

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 両方知っている           | 3. 「山口県犯罪被害者等支援条例」は知っている |
| 2. 「犯罪被害者等基本法」は知っている | 4. 両方知らない                |

## 6 消費生活に関することについて

Q10-1 あなたは、強引な勧誘や詐欺的な勧誘を受けた場合や、そのような勧誘により契約を締結してしまった場合、誰に相談しようと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                           |                              |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 市町や消費生活センターなど行政機関の相談窓口 | 8. 近所の人                      |
| 2. 警察                     | 9. 民生委員、ホームヘルパーなど            |
| 3. 弁護士、司法書士などの専門家や法テラス    | 10. その他 ( )                  |
| 4. 消費者団体                  | 11. 相談できる人がいない、相談できる機関がわからない |
| 5. 同居している家族・親族            | 12. 誰かに相談しようとは思わない           |
| 6. 同居していない家族・親族           | 13. わからない                    |
| 7. 友人、同僚など                |                              |

## 7 関心がある人権問題について

Q11-1 あなたは、現在どのような人権問題に関心をお持ちですか。(〇はいくつでも)

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. 男女共同参画に関する問題 | 10. インターネットにおける問題    |
| 2. 子どもの問題       | 11. プライバシーの保護        |
| 3. 高齢者問題        | 12. 拉致問題             |
| 4. 障害者問題        | 13. インフォームド・コンセントの推進 |
| 5. 同和問題         | 14. 感染症の問題           |
| 6. 外国人問題        | 15. ハンセン病問題          |
| 7. 罪や非行を犯した人の問題 | 16. LGBTなどに関する問題     |
| 8. 犯罪被害者と家族の問題  | 17. ストーカーの問題         |
| 9. 環境問題         | 18. その他 ( )          |

**Q11-2** あなたは、人権問題に関する知識や情報を何から得ていますか。(〇はいくつでも)

- |                              |                   |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 報道 (テレビ・ラジオ・新聞・雑誌)        | 4. 行政や民間団体のパンフレット |
| 2. インターネットやメーリングリスト、メールマガジン等 | 5. 民間団体や町内会等での活動  |
| 3. 講演会・研修会・学習会等への参加          | 6. 家族・友人との会話      |
|                              | 7. その他 ( )        |

**Q11-3** 山口県では、「山口県人権推進指針」を策定し、人権に関する諸施策を総合的に推進しています。あなたは、この「山口県人権推進指針」を知っていますか。(〇は1つ)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 知っていて内容もよく理解している             |
| 2. 知っていて内容もある程度は (少しは) 理解している   |
| 3. 知っているが内容はよく理解していない           |
| 4. 知らない ⇒ <b>Q12-1</b> へお進みください |

**【Q11-3で「1、2、3」と回答した方に】**

**Q11-4** それは、何を通じてお知りになりましたか。(〇はいくつでも)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. 講演会・研修会・学習会等  | 4. 県・市町のホームページ |
| 2. 県・市町のイベント     | 5. 県・市町の広報紙    |
| 3. 公共施設などの展示コーナー | 6. その他 ( )     |

## 8 環境について

**Q12-1** あなたは、次の「環境」に関する問題や取組について知っていますか。(〇はそれぞれ1つ)

	よく知っている	ほぼ知っている	あまり知らない	まったく知らない
1. 気候変動・地球温暖化	1	2	3	4
2. 脱炭素社会 (カーボンニュートラル)	1	2	3	4
3. ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)	1	2	3	4
4. フロン類	1	2	3	4
5. 循環型社会	1	2	3	4
6. 海洋プラスチックごみ	1	2	3	4
7. フードバンク活動	1	2	3	4
8. レッドデータブック	1	2	3	4

**Q12-2** 「環境問題」に関して、あなたが利用している情報源は何ですか。(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 自治体や民間団体などの公式ホームページ、パンフレット等           |
| 2. テレビ                                   |
| 3. ラジオ                                   |
| 4. 新聞、雑誌等の印刷された情報誌                       |
| 5. ニュースサイトや電子版の新聞など                      |
| 6. 友人・知人・家族                              |
| 7. SNS (Twitter、Facebook、LINE、YouTube 等) |
| 8. セミナーや講習会                              |
| 9. その他 ( )                               |
| 10. 特に情報を得ていない                           |

**Q12-3** 「環境問題」に関して、あなたが信頼できると思う情報源は何ですか。(〇はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 自治体や民間団体などの公式ホームページ、パンフレット等          |
| 2. テレビ                                  |
| 3. ラジオ                                  |
| 4. 新聞、雑誌等の印刷された情報誌                      |
| 5. ニュースサイトや電子版の新聞など                     |
| 6. 友人・知人・家族                             |
| 7. SNS(Twitter、Facebook、LINE、YouTube 等) |
| 8. セミナーや講習会                             |
| 9. その他 ( )                              |

**9 食の安心・安全について**

**Q13-1** あなたは、日常の生活で食品に不安をお持ちですか。(〇は1つ)

- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 1. 非常に不安 | 2. 少し不安 | 3. 不安はない |
|----------|---------|----------|

**10 生物多様性について**

**Q14-1** あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。(〇は1つ)

- |                        |             |
|------------------------|-------------|
| 1. 言葉の意味を知っている         | 3. 聞いたこともない |
| 2. 意味は知らないが言葉は聞いたことがある | 4. わからない    |

「生物多様性」とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。この生物多様性は、私たちの豊かな暮らしに欠かせない多くの自然の恵みをもたらしてくれます。

**Q14-2** 生物多様性を守っていくために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1. 絶滅のおそれのある野生動植物の保護                          | 7. 里地里山、里海の保全・再生                   |
| 2. アライグマやブラックバス、アルゼンチンア<br>リ等外来種による生態系等への影響防止 | 8. 森・里・川・海の一体的な保全・再生               |
| 3. 国定公園等の優れた自然環境の保全                           | 9. 環境保全型農業など生物に配慮した農林水<br>産業の振興    |
| 4. エコツアーや自然観察会等の自然とふれあう<br>機会の提供              | 10. 産業活動や開発事業における野生生物や自<br>然環境への配慮 |
| 5. イノシシやシカ等による農作物被害の防止な<br>ど有害鳥獣対策            | 11. 学校等での環境教育、環境学習の推進              |
| 6. 豊かな森林づくりの推進                                | 12. 県民への生物多様性に関する普及啓発              |
|   | 13. 特に必要ない                         |

**11 拉致問題について**

**Q15-1** あなたは、「拉致問題」について、どの程度関心をお持ちですか。(〇は1つ)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 大いに関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少しは関心がある | 4. 全く関心がない  |

**Q15-2** 「拉致問題」の解決には、県のどのような取組が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1. 県民世論を喚起するため、拉致問題の周知を図<br>る取組(パネル展示、マスメディアでの広報等)<br>を積極的に行う | 3. 政府に対して、積極的に外交交渉を進める<br>ように要望を行う |
| 2. 拉致被害者ご家族を支援する団体の活動(署名、<br>募金等)に対して、積極的に協力する                | 4. 他の都道府県などの自治体と連携して取組<br>の輪を広げる   |
|   | 5. その他 ( )                         |

Q15-3 拉致問題の解決に向けて、あなたは、今後どのように協力していきたいですか。

(〇はいくつでも)

1. 拉致問題に関する集会等の行事に参加する	4. 知人や友人に拉致問題に関する情報を伝えるなどの働きかけを行う
2. 街頭などで行われる署名や募金の活動に自ら参加する	5. ブルーリボンバッジを着用する
3. 街頭などで行われる署名や募金に応じる	6. その他 ( )
	7. 特に協力は考えていない

## 12 食育について

Q16-1 あなたは、「食育」について関心がありますか。(〇は1つ)

1. 関心がある	4. 関心がない
2. どちらかといえば関心がある	5. わからない
3. どちらかといえば関心がない	

Q16-2 主食(ごはん、パン、麺など)・主菜(肉、魚、卵、大豆製品などを使ったメインの料理)、副菜(野菜、きのこ、いも、海藻などを使った小鉢・小皿の料理)を3つ揃えて食べることが1日2回以上あるのは、週に何日ありますか。(〇は1つ)

1. ほぼ毎日	3. 週に2~3日
2. 週に4~5日	4. ほとんどない

Q16-3 あなたは、生活習慣病の予防や改善のために普段から適正体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を実践していますか。(〇は1つ)

1. 実践している	2. 実践していない
-----------	------------

Q16-4 家族と同居している方のみお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

	ほとんど毎日	週に4~5日	週に2~3日	週に1日	ほとんどない
朝食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか	1	2	3	4	5
夕食を家族と一緒に食べることはどのくらいありますか	1	2	3	4	5

Q16-5 あなたは、ゆっくりよく噛んで食べる等の食べ方に関心がありますか。(〇は1つ)

1. 関心がある	4. 関心がない
2. どちらかといえば関心がある	5. わからない
3. どちらかといえば関心がない	

**Q16-6** 地域や所属コミュニティ（職場等を含む）での食事会等の機会があれば、あなたは参加したいと思いますか。（〇は1つ）

1. とてもそう思う 2. そう思う	3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. 全くそう思わない	→Q16-8へ
-----------------------	---	---------

**【Q16-6で「1. とてもそう思う」「2. そう思う」と回答した方に】**

**Q16-7** あなたは、過去1年間に、地域や所属コミュニティでの食事会等に参加しましたか。（〇は1つ）

1. 参加した	2. 参加していない
---------	------------

**Q16-8** あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を受け継いでいますか。（〇は1つ）

1. 受け継いでいる	2. 受け継いでいない	→Q17-1へ
------------	-------------	---------

**【Q16-8で「1. 受け継いでいる」と回答した方に】**

**Q16-9** あなたは、郷土料理や伝統料理など、地域や家庭で受け継がれてきた料理や味、箸づかいなどの食べ方・作法を、地域や次世代（子どもや孫を含む）に対して伝えていますか。（〇は1つ）

1. 伝えている	2. 伝えていない
----------	-----------

### **13 山口県健康エキスパート薬剤師の認知度等について**

県では、地域において積極的に薬学的な健康サポート※により、総合的に県民の皆さんの健康等ニーズに対応できる薬剤師の登録制度を行っています。（令和3年4月22日現在、158名が登録されています。）

※ 薬学的な健康サポートとは

身近な薬局・薬剤師が、学術的な知識、経験などを活かした相談対応、県民が自ら行う健康管理への助言、受診勧奨などの総合的な支援を行うこと

◆山口県健康エキスパート薬剤師が実施している具体的な取組内容◆

- ①県民の皆さんの健康維持・増進のために健康サポートの取組支援
- ②安心・安全な薬の使用のための支援
- ③関係機関との連携
- ④休日・夜間対応及び在宅医療への対応



**Q17-1** あなたは、山口県健康エキスパート薬剤師をご存じですか。（〇は1つ）

1. 知っており、薬や健康等について相談している
2. 知っているが、薬や健康等について相談したことはない
3. 知らない

**Q17-2** 薬や健康等に関して、山口県健康エキスパート薬剤師に相談する場合、今後、どのような手段や場所で相談したいですか。(〇はいくつでも)

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 電話                 | 6. プライバシーに配慮した薬局内の相談コーナー |
| 2. メール                | 7. 相談したいことはない            |
| 3. LINE などチャット (会話形式) | 8. その他 ( )               |
| 4. Zoom などのビデオ通信      |                          |
| 5. 健康相談会等のイベント会場      |                          |

**Q17-3** 薬や健康等に関して、山口県健康エキスパート薬剤師に相談する場合、どのような対応があると相談しやすいですか。(〇はいくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 電話や薬局への訪問など直接問い合わせなくても、簡単な質問には機械的に自動で応答してくれる機能があること |
| 2. 相談内容により、非対面での対応ができること                               |
| 3. 相談内容により、匿名性が担保されること                                 |
| 4. 24時間いつでも相談できること                                     |
| 5. 相談への素早い対応が行われること                                    |
| 6. 高い専門性を有すること   |
| 7. 気軽に相談できること  |
| 8. その他 ( )   |

## 14 多文化共生について

**Q18-1** あなたは、「多文化共生」(地域住民と外国人が互いを認め合い共に暮らしていくこと)という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

- |          |                     |         |
|----------|---------------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 意味は知らないが聞いたことはある | 3. 知らない |
|----------|---------------------|---------|

**Q18-2** あなたは、多文化共生の推進について、どう思いますか。(〇は1つ)

- |             |                 |           |          |
|-------------|-----------------|-----------|----------|
| 1. 大変重要だと思う | 2. それほど重要とは思わない | 3. 重要ではない | 4. わからない |
|-------------|-----------------|-----------|----------|

**Q18-3** 日常生活において、あなた自身が外国人と関わることについてどう思いますか。(〇は1つ)

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 積極的に関わりたい      | 2. 機会があれば関わりたい |
| 3. それほど関わりたいと思わない | 4. わからない       |

**Q18-4** あなたは、県内に在住する外国人にどのようなことを期待しますか。(〇はいくつでも)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 出身国の文化や言葉を紹介してほしい | 2. 住民との交流や行事へ参加してほしい |
| 3. 日本語を覚えて使ってほしい     | 4. 日本で就労・就学してほしい     |
| 5. 日本の法律・ルールを守ってほしい  |                      |
| 6. その他 ( )           |                      |

**Q18-5** 今後、多文化共生を推進していくためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                              |                         |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 日本人と外国人の積極的な交流            | 2. 日本人に対する多文化共生に関する普及啓発 |
| 3. 外国人に関する相談窓口の設置・拡充         | 4. 外国人に対する日本語教育         |
| 5. 外国人の就学・就労・生活環境の改善         |                         |
| 6. 外国人に対する日本の生活に関する情報提供や普及啓発 |                         |
| 7. その他 ( )                   |                         |

**Q18-6** 外国人住民とのコミュニケーションを積極的に、スムーズに行っていくためには何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- |   |
|---|
| 1. 外国人が日本語を学習するための教室や教材<br>2. 日本人が外国語を学習するための教室や教材<br>3. 日本人が外国人にわかりやすい日本語を使うこと<br>4. 日本語と外国語を自動翻訳できる機械やアプリ<br>5. 日本人・外国人双方が安心して参加できる交流の場<br>6. その他 ( ) |
|---|

**15 運動・スポーツの実施状況について**

**Q19-1** あなたは、過去1年間に、どの程度、「運動・スポーツ(※)」を行いましたか。(〇は1つ)

※ 陸上競技・水泳・球技・武道・マリンスポーツ、ウインタースポーツ等の他、グラウンドゴルフ・ソフトバレー等のレクリエーションスポーツ、サイクリング、トレッキング・釣り等のアウトドアスポーツ、ウォーキングや軽い体操、運動を目的とした自転車や徒歩での通勤・通学等を含みます。

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 週に3日以上 (年150日を超える程度)  | 4. 3か月に1~2日程度 (年4~11日程度) |
| 2. 週に1~2日程度 (年51~150日程度) | 5. 年に1~3日程度              |
| 3. 月に1~3日程度 (年12~50日程度)  | 6. 行わなかった →Q19-3へ        |

**Q19-2** どのような「運動・スポーツ」を行いましたか。(〇はいくつでも)

- |                               |                                 |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 競技スポーツ(球技以外)<br>(陸上競技、水泳等) | 6. マリンスポーツ<br>(ヨット、サーフィン、カヌー等)  |
| 2. 球技(屋外)<br>(野球、テニス、ゴルフ等)    | 7. アウトドアスポーツ<br>(サイクリング、登山、釣り等) |
| 3. 球技(屋内)<br>(バレーボール、卓球等)     | 8. レクリエーションスポーツ<br>(グラウンドゴルフ等)  |
| 4. 武道<br>(柔道、剣道、空手、弓道等)       | 9. トレーニング・健康づくり<br>(ウォーキング、ヨガ等) |
| 5. ウインタースポーツ<br>(スキー、スケート等)   | 10. 自転車や徒歩での通勤・通学等(※運動目的)       |

**Q19-3** 「運動・スポーツ」を行わなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                 |             |             |
|-----------------|-------------|-------------|
| 1. 仕事(家事・育児)が多忙 | 5. 仲間がいない   | 9. 機会がない    |
| 2. 体が弱い         | 6. お金が掛かる   | 10. その他 ( ) |
| 3. 年を取った        | 7. 場所や施設がない | 11. 特に理由はない |
| 4. スポーツは好きでない   | 8. 指導者がいない  |             |

**16 地産・地消の推進について**

**Q20-1** 県内で生産された農林水産物を県内で消費する「地産・地消」についてご存じですか。(〇は1つ)

- |                                    |                         |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1. よく知っており、意識して県産農林水産物を購入するようにしている | 3. 言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 2. 知っているが、買い物の際には特に意識していない         | 4. 初めて聞いた言葉である          |

## 17 「やまぐち森林づくり県民税」について

Q21-1 山口県では、荒廃した森林の再生を図るため、平成17年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。あなたは、この「やまぐち森林づくり県民税」をご存じですか。  
(○は1つ)

1. 知っている	2. 聞いたことがあるが 詳しい内容は知らない	3. 知らない
----------	----------------------------	---------

Q21-2 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業のうち、どの事業の内容をご存じですか。  
(○はいくつでも)

1. 森林機能回復事業（荒廃したスギ・ヒノキ人工林の一部の伐採）	4. 森林環境活動サポート事業（ボランティア団体等への支援）
2. 繁茂竹林整備事業（繁茂した竹林の伐採）	5. 事業の内容は知らない
3. 地域が育む豊かな森林づくり推進事業（市町等が独自に取り組む多様な森林整備への支援）	

## 18 コミュニティ・スクールについて

Q22-1 山口県では、すべての公立小中学校にコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組みが導入されており、保護者や地域住民の声を生かした「地域とともにある学校づくり」を推進しています。あなたは、校区の小中学校が「コミュニティ・スクール」であることをご存じですか。(○は1つ)

1. 知っている	2. 知らない → F1へ
----------	---------------

Q22-2 「コミュニティ・スクール」について以下のことをご存じでしたら○をつけてください。  
(複数回答可)

1. コミュニティ・スクールは、県内全ての特別支援学校に導入されている
2. コミュニティ・スクールは、県内全ての公立高校にも導入されている

最後に、あなたご自身のことについておたずねします。

F1 あなたの性別は。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F2 あなたの年代は。

1. 18、19歳	3. 30～39歳	5. 50～59歳	7. 70歳以上
2. 20～29歳	4. 40～49歳	6. 60～69歳	

F3 あなたの職業は。(○は主なものに1つ)

1. 農林漁業（家族従業者を含む）	6. 技能職・労務職（工員、店員、消防士、運転士など）
2. 商工サービス業（家族従業者を含む）・自由業	7. 主婦・主夫
3. 管理職	8. 学生
4. 事務職	9. 無職
5. 専門技術職（技師、研究者、医師・看護師、教員など）	

**F4** あなたの家族構成は。(○は1つ)

- |                                    |                  |
|------------------------------------|------------------|
| 1. 1人世帯                            | 4. 親と子どもと孫 (3世代) |
| 2. 夫婦のみ (1世代)                      | 5. その他 ( )       |
| 3. 自分 (たち) と子ども、または親と自分 (たち) (2世代) |                  |

**F5** 山口県にお住まいになって通算何年になりますか。(○は1つ)

- |           |             |             |
|-----------|-------------|-------------|
| 1. 3年未満   | 3. 5～10年未満  | 5. 15～20年未満 |
| 2. 3～5年未満 | 4. 10～15年未満 | 6. 20年以上    |

**F6** あなたのお住まいはどちらですか。(○は1つ)

- |          |         |         |            |         |
|----------|---------|---------|------------|---------|
| 1. 岩国市   | 5. 上関町  | 9. 下松市  | 13. 宇部市    | 17. 萩市  |
| 2. 和木町   | 6. 田布施町 | 10. 周南市 | 14. 美祢市    | 18. 長門市 |
| 3. 柳井市   | 7. 平生町  | 11. 防府市 | 15. 山陽小野田市 | 19. 阿武町 |
| 4. 周防大島町 | 8. 光市   | 12. 山口市 | 16. 下関市    |         |

調査にご協力をいただき、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)により、6月28日(月)までに投かんをお願いいたします。